



無線LANですっきりネットワーク!

自宅や会社でパソコンを購入して、インターネットを使い始める時、ケーブルの配線で面倒な思いをしたことはありませんか?

モデム^{※1}は1階にあるんだけど、パソコンは2階に設置したい…。また、せっかく(持ち運びができる)ノートパソコンなんだから、リビングでも使いたいし、書斎でも使いたいなあ…。なんてことはありませんか?

そんな時には、わずらわしいケーブルの配線作業から解放してくれる「無線LAN」を導入してみたいかでしょうか?

無線LANを導入するには?

無線LANとは、文字通り、無線通信でデータを送受信するLAN(ローカルエリアネットワーク)のことです。

LANケーブルを使わないので、パソコンの設置場所を変更する時に配線のやり直しをしなくても済みますし、ノートパソコンは持ち運びしながらインターネットをすることが可能になります。

もちろん、複数のパソコンで同時に無線通信を利用することもできます。

では、無線LANを導入するにはどうしたらよいのでしょうか?

まず、無線通信に対応した「無線ルータ^{※2}」(親機)と「無線アダプタ」(子機)が必要になります。

子機は、最近のノートパソコンの場合、本体に無線機能が内蔵されていることが多くなりました。もし内蔵されていなくても、USB型やPCカード型など、いろいろな形態の商品が発売されていますので、パソコンの形状などに合わせて選びましょう。

親機は、モデムに無線機能が内蔵されている場合もあります。モデムにアンテナが付いていることが目印になります(アンテナが本体に内蔵の場合もあります)。内蔵されていない場合は、別途、無線ルータが必要になります。

セキュリティにご注意!

無線LANを使用するにあたっては、セキュリティに気をつけなければいけません。通信の暗号化を行わないと、電波を盗聴される怖れがあったり、自分のネットワークに他人が勝手に入り込まれたりする可能性もありませんからです。

先日、英Timesの委託でセキュリティ関連企業^{ソフォス}Sophos

が実施した調査では、560人のうち54%が、他人の無線LANに“ただ乗り”したことがあると答えたそうです。

外国の話じゃないか、なんて軽く思わないでくださいな。

会社で利用する無線LANは管理者がセキュリティの設定をしてくれるけど、自宅では自分で設定しなくちゃならないで面倒でやっていない、なんてケースが多いのではないのでしょうか。

通信を傍受されたり個人情報盗まれるのを防ぐためにも、会社でも自宅でも無線LANを強力な暗号で守るよう対策を施さなければなりません。

これから期待! 公衆無線LANサービス

最近、たまに耳にするようになってきたのが「ホットスポット」や「フリースポット」などの名称で呼ばれる「公衆無線LANサービス」。

これらは、駅やホテル、レストランなどの公共の場で、無線LANを利用するためのサービスで、プロバイダがインターネット契約のオプションで提供していることが多く、プロバイダによって名称やサービス内容、利用料金が異なります。

パソコンを携帯電話やPHSに繋いで電話回線を通してインターネットに接続するのは違い、普段使用している無線子機で公共の無線ネットワークに接続します。これなら携帯電話のパケット通信料^{※3}を気にせずに済みますね。



ただし、都会を中心に普及が始まっているため、現在、福島県内では使用できる場所が限られてしまっているのが難点です。

とても便利な無線LAN。きちんとセキュリティ設定を行って、快適に利用しましょう!

※1 電話回線を使って情報のやりとりをするための機器。通常、電話機やFAX、または端末装置の近くに置かれていることが多い。

※2 ネットワークとネットワークを繋ぐための機器。1つのインターネット回線に複数のパソコンを接続する際に使用するケースが多い。

※3 PCを携帯電話に繋いでインターネット通信を行うと、別途通信料金が加算される場合があります。

編集後記 現在、弊社では業務改善に取り組んでいます。その一環としてファイルサーバの整理を行うことになりました。今まで、ファイル保存のルールらしいルールがなかったため、フォルダやファイルが雑然と並んでおり、正直、どこから手をつけたものやら…という状況でした。しかし、社員で構成されたサーバすっきりチームにより基本ルールの策定が進み、整理整頓を始める段階までこぎ着けました。サーバ整理の効果が出ましたら、皆様にもご紹介したいと思います。(本田)